

2026.2  
(公社)富山県薬剤師会  
広報誌

# とみ やく 富 薬

2 号

第48巻  
No.439



カカオノキ *Theobroma cacao* L.

(アオギリ科 *Sterculiaceae*)

**生 薬** カカオ脂 6月と12月に熟した果実を収穫し、中の種子を集めて発酵した後乾燥し、炒ってから種皮を取り除き、すりつぶしてカカオペーストにしたものを温圧して脂肪分とココアケーキに分けます。

**成 分** 脂肪酸 :palmitic acid, stearic acid, oieic acid, linoleic acid 等。

**効 能** 坐薬や化粧品の基剤などに用いられる。

元富山県薬事研究所  
薬用植物指導センター

村上守一氏 写真撮影

## 〇〇表紙について〇〇



3世紀のローマ、キリスト教司祭のバレンティヌスは当時のローマ帝国皇帝・クラウディウス2世の命令に逆らって愛の尊さを説いたため、西暦270年頃の2月14日、処刑されました。後世の人々は2月14日を「Saint Valentine's Day（聖バレンタインの日）」として祭るようになったと伝えられています。14世紀以降、2月14日は、恋人同士が贈り物を交換するイベントとして定着していきました。しかし、「女性から男性へチョコレートを贈る」という風習は、日本独自の文化だということで、2月のチョコレートの消費金額は月平均金額の2.8倍になるそうです。

収穫期は産地によって異なりますが、概ね年2回で6月と12月に行われ、収穫された果実は果皮を除いて種子を木箱で4～5日発酵させると、香気が出て表面が赤褐色になるので、水洗いして乾燥したものをカカオ子（カカオ豆）と言い、炒ってチョコレート色になったところでロールにかけ砕き種皮を取り去り磨り潰すと、カカオ・ペーストになります。脂肪油を50～60%含み圧搾すると、脂肪分と残物に分けられ、脂肪分は、カカオ脂（カカオバター）と呼び、融点は31～35℃で人の体温で溶け、変質しにくい性質があり、座薬原料、リップクリームや化粧品などの基剤などに用いられます。残物を乾燥した粉末を、ココアと呼び、theobromineや微量のcaffeineを含みます。また、カカオポリフェノール（epicatechin, catechin, procyanidin, cinnantanninなど）を含み、抗酸化活性、動脈硬化予防、抗菌活性（虫菌菌予防）、抗アレルギーなどの効果あると言われています。

BC2000～AC1500年代まで栄えたマヤ・アステカ文明では特権階級のみが味わえる貴重な飲料として使われていました。カカオ豆を発酵させ乾燥してから土鍋で炒って、石臼のようなものですり潰すとドロドロになります。これにトウガラシ（*Capsicum annuum*）やベニノキ（*Bixa orellana*）の実、トウモロコシ（*Zea mays*）の粉などを混ぜ、水や湯に溶かし、かき混ぜて泡立てたものを飲んでいました。この飲料をアステカ語でXocolatl又はChocolatlと呼び、スペイン語でChocolateと記したことがチョコレートの語源になっています。しかしコロンブス（1451～1506）により新大陸が発見され、スペイン人の征服者エルナン・コルテス（1485～1547）によりアステカ王国が滅ぼされましたが、味わったことがあるコルテスはスペインにこれを持ち帰り、カルロス1世に献上しました。初めの頃は発酵による酸味とポリフェノールによる苦味は受け入れてもらえなかったものの、コロンブスがカリブ海のサン・ドマング島に持ち込んだとされるサトウキビ（*Saccharum officinarum*）が16世紀の植民地化と共に大規模プランテーションにより栽培化され、カカオと共に用いられ、甘くて温かい飲み物として、また強心作用、利尿作用、中枢興奮作用があり、強精・媚薬効果や疲労回復効果、長寿も期待され、スペインの王侯貴族など特権階級の飲み物として人気になりました。1847年には固形のチョコレートがイギリス人のジョセフ・フライにより作られました。搾油していないカカオパウダーにカカオバターを更に加え、多くの砂糖を溶かし込むことが可能になり、常温で固形になる板チョコレートをつくりました。

日本におけるチョコレートの記録では廣川獬の『長崎聞見録』（1797）に「ショクラトは紅毛人持ち渡る腎薬で、形獸角のごとく。色、亜仙薬に似たり。その味淡白なり。熱湯に志よくらとを三分削り入れ、次に鶏卵一個、砂糖を少し加て茶筌でよくよく調和し、蟹眼出るまで混ぜるべし」と砂糖を入れて飲むスペイン風の飲み方が記されています。日本初の国産チョコレートは、1878年に両国若松風月堂で発売したもので、「貯古齡糖」という名で新聞に広告を載せました。（村上守一 記）